



No.13 / August, 2009

# さつきの丘だより

竹村内科・腎クリニック通信

〒322-0029 栃木県鹿沼市西茂呂 4-46-3

透析センター編

Phone; 0289-60-7577 · Fax; 0289-60-7578 · URL: <http://take2002.on.arena.nc.jp>

## ● 新型インフルエンザ

今年の2月に、メキシコ東部の小さな村で新型インフルエンザが発生しました。あっという間に感染が広がり、6月11日にはWHOが「フェーズ6(世界的流行)」を宣言しました。8月はじめの時点で、メキシコでは16000人余り、アメリカで43000人、オーストラリアの21000人をはじめとして、全世界で18万人以上の感染が報告されています。以前から心配されていた強毒型のトリ・インフルエンザ(H5N1)とはちがって、死亡率はとても低く、冬に多い通常のインフルエンザ並の強さだと分かってきました。はじめは、豚から感染したと思われて「豚インフルエンザ」と呼ばれていましたが、豚肉から感染するような誤解を招きやすいので、現在は単に「新型インフルエンザ(H1N1)」と呼ばれることになりました。1918年に流行した「スペイン風邪」と同類です。日本人でも、65才以上の4割は免疫を持っているらしく、若い人



の感染が多いのでは、と言われていきます。国内では5000人余りの感染が報告されましたが、栃木県内では8月現在、100人ほどの感染者が発見されています。7月には県内の小学生がインフ

ルエンザ脳症になりましたが、その後無事に退院しました。8月に入って沖縄で初めての死亡例も出ましたが、感染者は数千人ですから、死亡率は極めて低いと言えます。弱毒のウイルスですから、心配しすぎることはありません。通常のインフルエンザ予防と全く同じく、手洗い・うがい・消毒につとめましょう。今のところ、タミフルという薬が良く効くようです。国内でも10月以降にワクチン接種が開始される予定ですが、まだ詳細は決まっていません。もし発熱した場合は、必ず医療機関に事前に電話相談して、日時を決めて来院するようお願いいたします。

## ■ 肺の検査できますよ

息切れが強かったり、痰や咳が多いなんてことはありませんか？もしかすると気管支喘息や肺気腫などの肺の病気かもしれません。肺は空気を出し入れして酸素を体に取り入れ二酸化炭素を捨てる働きをします。肺の病気で空気の出し入れが不十分になると、息苦しくなります。肺機能検査は、肺に出入りする空気の量と速さを測って肺の働きを調べる検査です。検査のしくみは簡単です。機械につながったホースをくわえて、合図に合わせて大きく息を吸ったり吐いたりします。呼吸の仕方によって検査結果が大きく変わりますので、合図にあわせてがんばって呼吸してください。当院でも簡単に出来る検査ですので、もし息切れなどの症状がある場合には、医師にご相談下さい。(Sam)

ウラも見てね



# 学会だより

6月5～7日に、パシフィコ横浜（横浜みなとみらい）で、第54回日本透析医学会総会が行われました。全国から多数の透析医療関係者が参加しました。当院からは、「血漿輸血で透析を離脱できた若

年性悪性高血圧の一例（竹村克己）」、「透析患者に対する抗アルドステロン治療の経験（根本遵）」、「DCS-27自動回収機能の臨床評価（小島裕樹）」、「透析患者の自己管理能力と看護師の指導能力のレベルアップを目指したクリティカルパス（落伏のぞみ）」の4演題を発表し、盛んな討論を行いました。



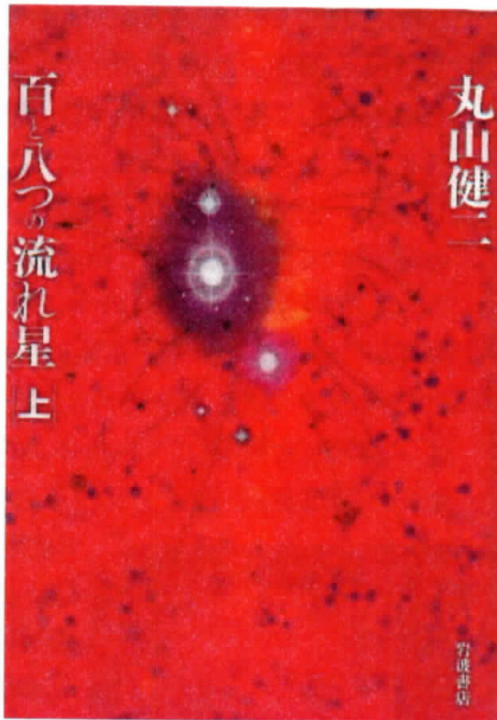
## さつき書評

丸山健二、岩波書店

### 「百と八つの流れ星」

著者によれば「どれほど凡庸な日常、懊悩に満ちた生活、不運に翻弄される生涯であろうとも、人生には闇を走る閃光にも似た煌めきの一瞬が訪れる」。1966年に『夏の流れ』で最年少（23才）で芥川賞と文学界新人賞を受賞した著者は、以後は中央文壇との交流を絶って長野県に居住し、孤高の創作活動に没頭している希有な現代文学者である。作家生活四十年を越え、なおも創作の鉱脈を掘り続ける著者が、戦後から現在までのさまざまな日本を舞台に、老若男女、獣や鳥たちの、命輝く一瞬を百八の物語に凝縮する。私が衝撃を受けた作品がいくつもあるが、例えば『餓死』。あまりにも身勝手な両親によって、山奥の家に置き去りにされた幼児。幼い生命力の限りを尽くして食べ物を求めるが、ついについに衰弱死していき、その幼児の死に向かう意識の流れを、そしてまた家の中に漂うような死後の意識の流れさえも、読む者が息つくいとまもないほど濃縮された高密度の文体で描いている。やがて近隣に住む顔見知り

の少女が空き家を訪れて、餓死した赤ん坊を発見するのだが、ここで少女は、自らでさえも予想し得ないであろう驚くべき行動をとる…。読後、私は口の中がカラカラに乾燥し、またしばし呆然として言葉をなくし、その日はその一編以上を読み進むことが不能になってしまった。ひとつひとつの作品が、それぞれ中編小説以上に匹敵する世界の広がりがあるので、読者は味読・再読・熟読を要求されるのだ。よく味わおうとすれば、一日に数編以上を読むことは不可能だろう。さらに驚異的なことだが、書き下ろしの短篇百八話が、まったく同じ紙数におさまるように執筆されている。今年上半期の最大の収穫。上下二巻に収録されている。2009年6月、岩波書店刊。



### 木もれ陽

忘れられない透析患者さんがいます。まだご自分で車を運転して通院されていたころ、几帳面な方なので、いつも朝早く病院にいらっしゃるのですが、車をとめるのはいつも駐車場のいちばん奥のようです。足腰も決して丈夫ではないはずなので、どうしてですか、とうかがったところ、「わたしが近くに駐車したら、ほかの人がとめられないでしょう」とのこと。本当に頭が下がる思いでした。（ね）